

## 水産功労者を称え、且つ己の意識も高める

水産振興祭



### CONTENTS

#### FISHING POLITICS

漁政



漁政対策委員会

掃海訓練実施のお知らせ

海難防止出動式

水産振興祭

全国豊かな海づくり大会

インフルエンザ予防関係

九州地区漁船漁業改革活性化シンポジウム

#### FISHERY MANAGEMENT

漁協経営情報



平成21年度漁協組合長研修会

2009年度決算税務研修会

第45回漁協職連体育大会

#### BUSINESS

業務情報



年末商品

宮崎カンパチ販売の御案内

#### FISHERIES CO-OPERATIVE

漁連情報



平成21年度第4回理事会

平成21年度上半期定期監査

5漁協・漁連直売レストラン  
打合せ会議の開催

魚乃里「ぎょれん丸」に  
「日南魚うどん」登場

#### FISHERIES EXPERIMENT

水産試験場



マダイ・ヒラメの  
放流効果について—増殖部—

10月の動き(県関係)

#### RELATED ORGANIZATION

関係機関



県南浮魚礁のルールを協議

宮崎県・大分県旋網漁業連合協議会

10月の動き

水産宮崎ダウンロードサービス

※必要な方はコチラから A4 サイズで出力出来ます。



## 漁政対策委員会

**宮** 崎県漁政対策委員会(会長 丸山英満)は去る10月6日、第6回委員会を開催した。

協議内容は下記の通り

1. 日向灘掃海訓練海面設定について



## 掃海訓練実施のお知らせ

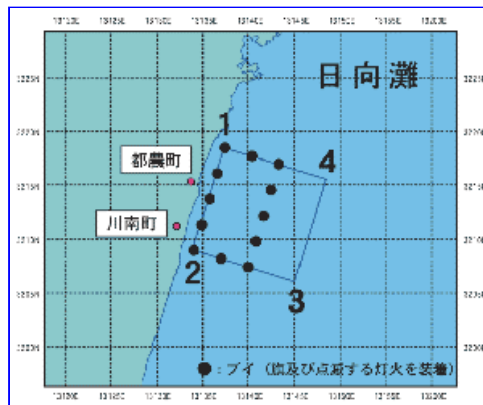
日向灘で次のとおり掃海訓練を実施しますので、同海域付近を航行する船舶は十分注意して下さい。

### 2. 海域

次の各点で囲まれる海域

点	緯度 経度	世界測地系
1	北緯 東経	32度18分30秒 131度37分15秒
2	北緯 東経	32度09分00秒 131度33分57秒
3	北緯 東経	32度06分12秒 131度45分03秒
4	北緯 東経	32度15分36秒 131度48分27秒

(訓練中は使用する海面を示すブイを配置します。)

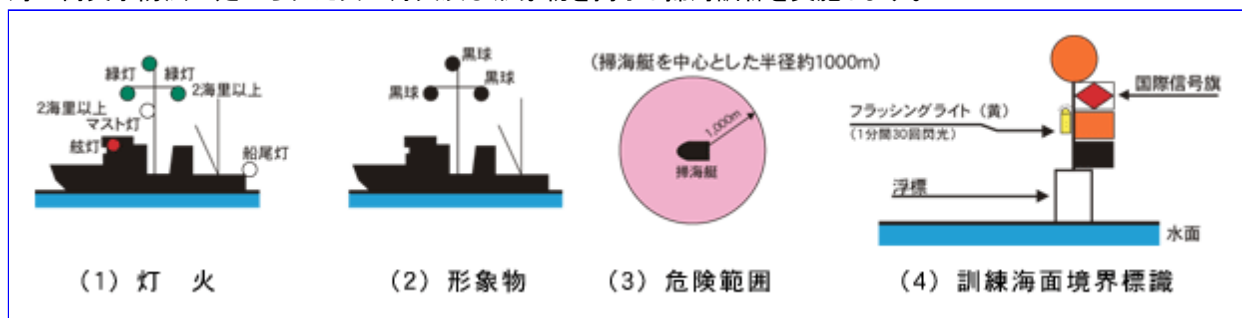


### 3. 訓練内容

掃海艦艇による掃海訓練等

### 4. 灯火及び形象物等

海上衝突予防法に定められた次の灯火及び形象物を掲示し掃海訓練を実施します。



5. 訓練海域付近には警戒艦艇を配備します。

### 6. お問い合わせ先

- 海上自衛隊呉地方総監部 : (0823)22-5511(内線 2222)
- 海上自衛隊佐世保地方総監部 : (0956)23-7111(内線 3222)
- 九州防衛局 : (092)483-8819(内線 668)
- 宮崎防衛事務所 : (0985)54-1658
- 宮崎県漁業協同組合連合会 : (0985)28-6111



## 海難防止出動式

**漁** 船海難防止強調月間(10月1日～10月31日)の初日にあたる10月1日、日南市油津港において漁船海難事故防止強調運動出動式が行われた。今回の出動式にはライフガードレディーズ(LGL)宮崎の一員として日南市・南郷漁協女性部8名が参加、海上に出るのパトロールでは、操業船に対し海難事故防止をアナウンスで切実に訴えた。ライフジャケットの着用で生存率が大きく変わることから、着用の徹底をお願いしたい。



## 宮崎県水産振興祭



**10** 月28日(水)、宮崎県水産会館において平成21年度宮崎県水産振興祭(主催 宮崎県・水産9団体)を開催し、水産功労者・水産業優良経営者表彰式が執り行われた。  
冒頭、丸山県漁連会長が開会を宣言、東国原知事が主催者を代表し挨拶を行った。引き続き伊藤農政水産部長が審査経過を報告し、知事より水産功労者2名、水産業優良経営者延べ25経営体に賞状を授与し、栄誉を称えるとともに日頃の労をねぎらった。これに対し功労者表彰を受けた南郷漁協所属の浅野鐵男氏が謝辞を述べた。

### 水産功労者

浅野鐵男(74歳)  
南郷漁業協同組合



かつお1本釣り漁業一筋に58年間もの長きにわたり漁業に従事され、漁業長、経営者としてその手腕を発揮され、後継者育成等にも尽力されました。また南郷漁協の役員をはじめ、宮崎海区漁業調整委員、カツオ船主組合長、宮崎県かつお漁業対策協議会会長等を歴任され、厳しい漁業環境の中で常に組織の強化と育成に取り組みされました。

別宮義照(78歳)  
宮崎内水面漁業協同組合



宮崎内水面漁業協同組合代表理事会長、宮崎内水面漁業協同組合連合会理事として系統団体の経営改善、組織強化に長きにわたって尽力されるとともに、多様化する環境保全に関する対応等内水面の振興はもとより、県民に対して癒しの場の提供等幅広く総合的な観点からも多大に貢献されました。

また同会場駐車場において、県民へ県内の特徴ある水産物のPRを目的に、水産物即売会も行われ、県内一円の水産物が販売された。



写真提供:全漁連

## 全国豊かな海づくり大会

**第** 29回全国豊かな海づくり大会が、10月31日、東京海洋大学(品川キャンパス)において、全国から600人の水産関係者出席のもと、開催された。

この大会は、「守り育てる 豊かな海は みんなの未来」をテーマに開催され、式典は第1部がオーケストラによる演奏、過去の大会映像等の紹介。第2部は、天皇・皇后両陛下ご臨席のもと、開会し、功績団体表彰行事・作文コンクール小学校低学年の部最優秀賞作品の朗読発表(比嘉夏妃さん・沖縄県久米島町立中里小学校)、大会決議採択、小・高・大学生によるメッセージの発信、両陛下からのアワビ稚貝お手渡し等、行われ、最後に次期開催県の岐阜県知事に、大会旗の引き継ぎが行われ、式典を終了した。



写真提供:全漁連

## インフルエンザ予防関係

**新** 型インフルエンザは依然猛威を振るい県内各地の学校では、学級閉鎖や学年閉鎖が相次いで発生しており感染者が増加の一途をたどっております。

このような状況の下、農林水産省の通達において食品産業事業者等に対して事業継続計画の策定及び感染予防措置に取り組むよう要請が出されております。

下記ホームページに、新型インフルエンザ対策として「食品産業事業者等のための事業継続計画の策定及び取組の手引き」が掲載されておりますので、各JFにおきまして事業計画策定の際は参照いただきますようお願い致します。

食品産業事業者等のための事業継続計画(簡易版)の策定及び取組の手引き(農林水産省ホームページ)  
<http://www.maff.go.jp/j/zyukyuu/ampo/pdf/old.html>

## 九州地区漁船漁業改革活性化シンポジウム

**水** 産庁の漁船漁業構造改革総合対策事業の普及と漁船漁業の再生を目的に九州地区漁船漁業改革活性化シンポジウム(主催:大日本水産会、JF全漁連、海洋水産システム協会)が10月8日、福岡県のホテル日航福岡で開催され、関係団体等より約200名が参加した。シンポジウムでは水産庁長谷課長の講演の他、各地域より提言が行われた

### 1.講演

漁業改革プロジェクトの進め方  
 長谷成人〔水産庁 沿岸沖合課長〕



### 2.提言

1. 漁船漁業改革に期待する  
 市田恵八郎〔枕崎市漁業協同組合 副組合長理事〕
2. 漁業改革プロジェクトの経験を踏まえて  
 濱田憲志〔大祐漁業株式会社 専務取締役〕
3. 漁業改革プロジェクトに向けた今後の構想について  
 (1)次世代型近海かつお一本釣漁業への取組  
 吉村富士男〔日南市漁業協同組合 大堂津支所長〕  
 (2)漁業改革プロジェクトに向けた今後の構想 ~遠洋まぐろ延縄漁業~  
 上竹秀人〔神崎水産株式会社 代表取締役社長〕
4. 商品としての魚の消費を大切に考える  
 田中道孝〔福水商事株式会社 代表取締役〕

♪海とっしょに 浜とっしょに♪

**元気に暮らそう JF 共済**

チョコ 暮らし カサヤ リンゴ

ゆんきん ランチン なぎさ年金

漁業協同組合・JF共済推進本部

<http://www.kyosuiren.or.jp>

## 平成21年度漁協組合長研修会

**平** 成21年度漁協役員研修事業の一環として、漁連・信漁連・共水連の共同主催による漁協組合長研修会を開催した。

内容については、東京都で開催されたJF全国代表者集会への参加となっており県下漁協から13名の組合長が参加したほか、全国から約600名の漁協長が参集した。

集会では、全漁連服部会長が「かつてない厳しい現状を乗り越えるため、JFグループの役割・存在意義を今一度組合員・役員間で再認識した上で、JFグループ自らが将来ビジョンを掲げ、組織・経営・事業の諸改革を断行する内容」と説明した。

この後、JF全漁連の櫻庭副会長（JF北海道ぎょれん会長）が「JFグループ組織・経営・事業戦略（2010～2014年度）」を提案。新運動方針の基本的な考えを説明するDVD「協同（とも）に生きる～明日のための漁業をめざして」の上映に続いて、「販売事業改革をめぐる」をJF明石浦の戎本組合長が、「山口県の漁業と漁協の再生—5力年の経営健全化計画達成への取組み」をテーマにJF山口の田中組合長が意見表明。JF全国女性連・宇都会長の呼びかけに応じて新運動方針を満場一致で採択した。続いてJF全漁連の大井総合政策部会長（JF岩手漁連会長）が「組織・経営・事業改革断行と水産政策の確立にかかる特別決議」を提案し、大きな拍手で承認し閉会となった。

## 2009年度決算税務研修会

**全** 漁連は、10月1～2日の2日間、東京都コープビルにおいて2009年度決算税務研修会を開催した。

この研修会は、連合会及び1県1漁協の総務・経理担当及び漁協指導担当職員を対象に、近年改正が行われた水協法・政令・規則等および模範定款例を中心に、決算作業に関連する内容と、それに伴う会計上の対応における留意点の把握ならびに平成21年度税制改正の概要等、必要な知識の習得と実務処理能力の向上をねらいとして開催されたものであり、全国から約80名が参加した。

研修内容は次のとおり

### 1日目

1. 業務報告書の作成概要について
2. キャッシュ・フロー計算書について
3. 部門別損益計算書の作成について
4. 2009年度決算において対応を要する会計基準の変更概要について

以上、説明者：JF全漁連 信用・組織指導部

### 2日目

1. 平成21年度税制改正及び法人税実務上の基礎等について
- 講師：河野利明税理士事務所 税理士 河野 利明氏



## 第45回漁協職連体育大会

**宮** 崎県漁協職員連絡協議会（委員長・谷口勝紀）は、10月26日（日）宮崎海洋高校体育館において県下漁協の会員約119名の参加のもと第45回職連体育大会を開催した。

大会は開会宣言に続き、谷口委員長より「会員間の親睦を図り、けがをしないように頑張ってください」と挨拶があり、その後、信漁連・松田さんによる力強い選手宣誓のあと早速競技に入った。

各種目ともに白熱し、大きな歓声に後押しされ熱戦が繰り広げられた。

結果は、赤団（県南漁協）260点、青団（日南市漁協・漁連の連合チーム）130点、白団（県中漁協・関係団体）70点となり赤団の優勝となった。

その後、谷口委員長の閉会宣言とともに幕を閉じた。



# 年末商品 宮崎カンパチ 販売のご案内

日頃から、宮崎県産の水産物を御愛顧いただきありがとうございます。この度、宮崎の漁師さんが、丹精込めて育て上げた宮崎県水産物ブランド品認証第1号の「宮崎カンパチ」を皆様の食卓にお届けします。また、今年は長友味噌醤油醸造元とのコラボレーションにより2009年末商品限定「カンパチ専用オリジナル醤油」をサービスさせていただきます。宮崎の風土香る、自慢の「宮崎カンパチ」をこの機会にぜひご賞味ください。なお、ご注文は、ご予約申込書より郵便又はFAXして頂くか、専用フォームにより、ご注文ください。



商品	宮崎カンパチ(1尾:3.0~3.5kgサイズ)1箱1尾入り(カンパチ専用オリジナル醤油1本付き)	
金額	・宅配の場合	6,000円/尾(送料・税込み)
	・お引き取り場所(下記)にて受け取りの場合	5,500円/尾(税込み)
注文受付締切	2009年12月11日(金)まで	
配達日	2009年12月30日(水) お引き取り場所にて受け取りの場合、午前9時~午後12時 ※宅配の場合、地域によっては翌日着になることもあります。	
ご注文先	宮崎県漁業協同組合連合会(JF宮崎漁連) 〒880-0858 宮崎市港2丁目6番地 Tel:0985-28-6111 Fax:0985-22-5759	
料金のお支払い方法	前払い:2009年12月18日(金)まで ※期限内にご入金がない場合、商品の発送ができませんのでよろしくお願いします。	
	振込先	金融機関 宮崎日ノ出郵便局
		口座番号 01700-3-16339 名義人 宮崎県漁業協同組合連合会
お申し込み方法	ご予約申込書(PDFファイル)を注文先まで郵便またはFAXでお送りください!! 専用フォームにてご予約の方はこちらからご注文ください!!	

## お引き取り場所



**魚乃里 ぎょれん丸**  
TEL:0985-28-6114  
〒880-0858  
宮崎市港2丁目6番地  
■受取時間  
12月30日(水)  
9:00~12:00

**延岡市(県漁連 土々呂製氷工場)**  
TEL:0982-37-0025  
〒889-0513  
延岡市土々呂町3丁目4498番地  
■受取時間  
12月30日(水)  
9:00~12:00

**日南市(県漁連 日南支所)**  
TEL:0987-23-5231  
〒887-0000  
日南市字石河588-127  
■受取時間  
12月30日(水)  
9:00~12:00



## 平成21年度 第4回理事会

**漁** 連は、10月29日(木)水産会館第一中研修室において、平成21年度第4回理事会を開催し、次の事項について報告及び議案審議を行い、全議案とも原案通り承認された。

### 報告事項

1. 平成21年9月末事業実績について
2. 人事異動について
3. 内部監査の結果について
4. その他  
新型インフルエンザ発生時の事業継続計画について

### 附議事項

第一号議案	平成21年度上半期監事監査結果に関する件
第二号議案	諸規程の改正に関する件
第三号議案	石油類の価格改定に関する件
第四号議案	監事の補欠選任に関する件

## 平成21年度 上半期定期監査

**漁** 連では、上半期棚卸監査を10月1日から2日まで会計監査(棚卸品・現金・貯金)10月14日から21日にかけて運営・会計全般に亘り本所及び各出先事業所ごとに平成21年度上半期定期監査を実施した。  
監査は、3名の監事により、財務の状況及び事業の状況並びに予算統制等について執行された。



## 5漁協・漁連直売レストラン打合せ会議の開催

**去** る、10月14日(水)、5漁協・漁連直売レストラン打合せ会議を漁協・漁連(門川・日向市・宮崎市・南郷漁協・漁連)の担当者を参集し開催した。

直売レストラン事業をおこなう漁協・漁連が連絡を密にし、情報の共有を図り事業を円滑におこなうことで、県下水産物の販路拡大とレストラン事業の収益性の向上を図るという趣旨のもとに、いきいき宮崎のさかなブランド推進協議会も交え、漁協直販レストランのパンフレット作成や、合同イベントの開催等について協議をおこなった。  
また、今後5漁協・漁連レストランの担当者による連絡協議会を定期的に開催することとした。

## 魚乃里「ぎょれん丸」に「日南魚うどん」登場

**お** 馴染みの日南市漁協女性部が真心を込めて造る、「日南魚うどん」が「ぎょれん丸」に登場します。

「日南魚うどん」と一緒に、かつお刺身を天麩羅にした「かつお丼」をセットにして提供します。

直売所でも、「日南魚うどん」を販売いたします。

今後も、ちりめんを使った料理等も登場予定ですのでご期待下さい。



## マダイ・ヒラメの放流効果について — 増殖部 —

**本** 県では、昭和50年からマダイ、昭和60年からヒラメの放流に取り組んでおり、現在では毎年、それぞれ毎年20万尾を超える放流が各地で実施されています。

水産試験場では、市場調査等によりマダイ・ヒラメの漁獲動向を探り、放流効果がどの程度あるのかを中心に調査しています。今回は、市場調査結果をもとに推定した放流効果について紹介します。

### 1. マダイの放流効果について

#### 1. 漁獲量の推移

図1は、昭和50年から年ごとのマダイ漁獲量と放流尾数の推移を示したものです。漁獲量は、昭和50年代前半は50トン前後で推移していましたが、本格的な種苗放流が始まった昭和55年以降は増加傾向を示し、平成8年に過去最高の160トン記録しました。その後、平成14年までは75～100トン台での増減を繰り返し、平成15年～18年は80トンを超える水準で推移していましたが、19年は75トンに減少しました。

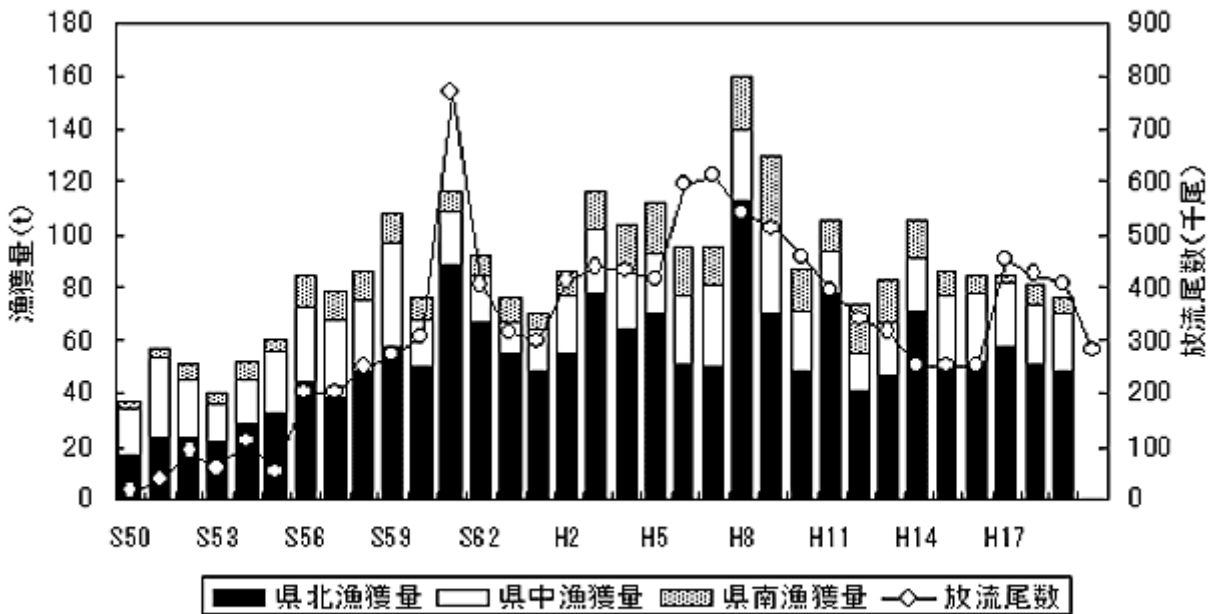


図1 マダイ地区別漁獲量と放流尾数の推移

#### 2. 毎年の放流魚混獲状況

表1は、本県のマダイ漁獲量のうち放流魚が混獲されている重量と割合を、市場調査等の結果により推定したものです。

平成4～19年(16カ年)における平均混獲重量は全体の12%の、12トンと推定されました。

※平成16年の「全体」は、他県海域を操業する大中型まき網の重量、生産額を除外した数値

表1 毎年のマダイ放流魚混獲状況

年度	重量(トン)		
	全体	放流魚	割合
H4	104	12	12%
H5	112	12	10%
H6	96	14	14%
H7	96	13	13%
H8	160	21	13%
H9	130	15	11%
H10	87	14	16%
H11	104	22	21%
H12	75	9	12%
H13	82	7	9%
H14	106	13	12%
H15	85	9	11%
H16※	85	9	11%
H17	86	8	10%
H18	82	4	5%
H19	75	4	6%
平均	98	12	12%



FISHERIES EXPERIMENT



### 3. 放流群別の放流マダイ回収状況

表2は、放流された年ごとのマダイ放流群について、各群各年齢ごとに漁獲による回収尾数、重量、回収率を、市場調査等の結果により推定したものです。平成4～13年放流群の平均回収尾数は16千尾、重量は約14トン、平均回収率は3.3%と推定されました。

放流年	放流尾数		標準率 (鼻孔隔皮)	年齢							計
	漁獲量	放流サイズ		0才	1才	2才	3才	4才	5才	6才+	
H4	432,000	39.8	◎	0	10,700	1,000	900	200	700	800	14,300
	104t	(67.4)	◎	0	3,283	664	1,015	242	1,550	3,131	9,885
	59.9mm		◎	0.00	2.48	0.23	0.21	0.05	0.16	0.19	3.31
H5	413,000	10.5	◎	600	12,300	10,600	2,100	1,100	1,200	500	28,400
	112t	(67.4)	◎	81	4,211	6,299	2,200	1,811	2,666	1,925	19,193
	71.9mm		◎	0.15	2.98	2.57	0.51	0.27	0.29	0.12	6.88
H6	593,000	13.8	◎	3,500	5,200	8,200	2,500	600	3,000	1,200	24,200
	96t	(67.4)	◎	294	1,394	4,179	2,499	942	6,783	4,677	20,768
	71.2mm		◎	0.59	0.88	1.38	0.42	0.10	0.51	0.20	4.08
H7	611,000	9.66	◎	2,500	30,500	8,800	2,200	2,800	600	900	48,300
	96t	(67.4)	◎	230	8,010	5,539	2,418	4,767	1,512	3,324	25,800
	67.2mm		◎	0.41	4.99	1.44	0.36	0.46	0.10	0.147	7.91
H8	540,100	13.2	◎	0	2,100	6,000	5,900	500	400	1,000	15,900
	160t	(67.4)	◎	0	837	4,496	6,804	859	866	3,729	17,591
	61.8mm		◎	0.00	0.39	1.11	1.09	0.09	0.07	0.19	2.94
H9	514,000	10.5	◎	0	1,800	2,700	1,000	400	600	800	7,300
	130t	(67.6)	◎	0	639	1,849	1,151	590	1,421	2,890	8,540
	67.7mm		◎	0.00	0.35	0.53	0.19	0.08	0.12	0.16	1.42
H10	458,000	14.2	◎	0	0	1,400	1,000	2,000	1,100	1,200	6,700
	87t	(34.4)	◎	0	0	865	1,144	3,333	2,496	4,677	12,515
	61.2mm		◎	0.00	0.00	0.31	0.22	0.44	0.24	0.26	1.46
H11	392,900	16.3	◎	0	500	2,100	3,700	1,100	800	1,400	9,600
	105t	(48.0)	◎	0	147	1,117	3,916	1,837	1,685	5,265	13,967
	69.4mm		◎	0.00	0.13	0.53	0.94	0.28	0.20	0.36	2.44
H12	340,600	16.5	◎	100	900	1,500	1,000	500	200	400	4,600
	75t	(92.1)	◎	6	190	788	1,042	879	412	1,645	4,962
			◎	0.03	0.26	0.44	0.29	0.15	0.06	0.12	1.35
H13	315,200		◎	30	600	1,000	1,300	700	100	500	4,230
	82t	(79.8)	◎	3	178	711	1,331	1,283	558	1,618	5,682
			◎	0.01	0.19	0.32	0.41	0.22	0.03	0.16	1.34
平均			◎	673	6,460	4,330	2,160	990	870	870	16,353
			◎	61	1,889	2,651	2,352	1,654	1,995	3,288	13,890
			◎	0.12	1.26	0.89	0.47	0.21	0.18	0.19	3.31

表2 放流群別・年齢別回収状況

16千尾  
 14トン  
 3.3%

## 2. ヒラメの放流効果について

### 1. 漁獲量の推移

図2は、昭和60年から年ごとのヒラメ漁獲量と放流尾数の推移を示したものです。

本県におけるヒラメの漁獲量は、平成元年の24トンと底として増加傾向に転じ、平成8年は76トンと、放流が開始された昭和60年の2倍近い水揚げとなりました。しかし平成9年からは再び減少し始め、15年には28トンと30トンを割り込んでおり、その後は平成17年に47トンにまで回復したものの平成18年41トン、平成19年39トンと、減少傾向にあります。

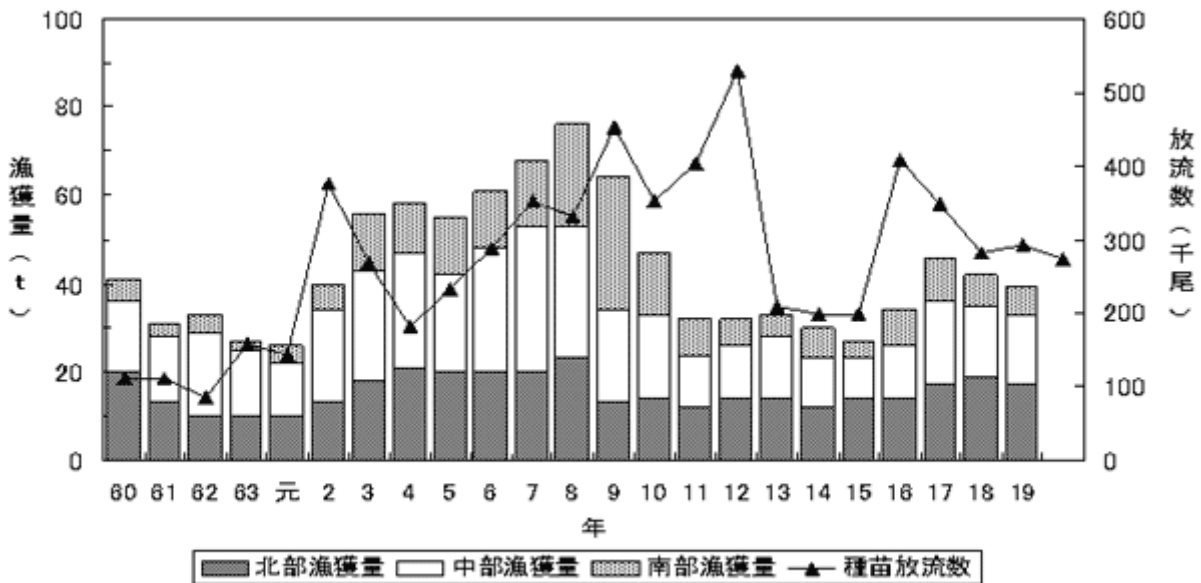


図2 ヒラメ地区別漁獲量と放流尾数の推移

2. 放流魚の混獲状況

表3は、本県のヒラメ漁獲量のうち放流魚が混獲されている重量と割合を、市場調査等の結果により推定したものです。全海域における放流魚の混獲量が算出できるようになった、平成12～19年(8カ年)における平均混獲重量は全体の16.7%の6.0トンと推定されました。

	重量(トン)		
	全体	放流魚	割合
H12	32	5.5	17.2%
H13	33	7.3	22.1%
H14	30	5.3	17.7%
H15	28	4.2	15.0%
H16	35	2.6	7.4%
H17	47	7.3	15.5%
H18	41	4.8	11.7%
H19	39	10.6	27.2%
平均	36	6.0	16.7%

表3 毎年のヒラメ放流魚混獲状況

3. 放流群別の放流ヒラメ回収状況

表4は、放流された年ごとのヒラメ放流群について、各群各年齢ごとに漁獲による回収尾数、重量、回収率を、ヒラメの漁獲量が比較的多い県中部地区(都農町から宮崎市)において、より詳細なデータを基に推定を行ったものです。平成5～12年放流群の平均回収尾数は約5千尾、重量は約3トン、平均回収率は約2.2%と推定されました。

放流年	放流尾数	項目	年 齢							計	
			0才	1才	2才	3才	4才	5才	6才		7才+
5	152,000	回収尾数(尾)	324	3,288	877	322	5	16	0	2	4,835
		回収重量(kg)	68	2,020	908	486	11	42	0	9	3,543
		回収率(%)	0.213	2.163	0.577	0.212	0.003	0.010	0.000	0.001	3.181
6	232,700	回収尾数(尾)	1,318	3,042	639	298	18	1	0	97	5,413
		回収重量(kg)	282	1,916	692	462	37	3	0	398	3,791
		回収率(%)	0.566	1.307	0.275	0.128	0.008	0.001	0.000	0.042	2.326
7	299,858	回収尾数(尾)	789	1,985	511	278	2	0	32	1	3,600
		回収重量(kg)	166	1,235	508	422	5	0	103	5	2,444
		回収率(%)	0.263	0.662	0.170	0.093	0.001	0.000	0.011	0.000	1.200
8	216,000	回収尾数(尾)	1,311	1,014	425	145	5	82	3	4	2,990
		回収重量(kg)	297	537	426	224	11	211	9	17	1,640
		回収率(%)	0.607	0.469	0.137	0.067	0.002	0.038	0.001	0.002	1.384
9	369,000	回収尾数(尾)	2,811	2,343	587	53	557	9	0	2	6,362
		回収重量(kg)	602	1,427	592	80	1,079	24	0	6	3,804
		回収率(%)	0.762	0.635	0.159	0.014	0.151	0.003	0.000	0.000	1.724
10	239,700	回収尾数(尾)	2,581	1,765	540	749	62	3	2	4	5,707
		回収重量(kg)	590	1,089	561	1,106	122	8	7	15	3,498
		回収率(%)	1.077	0.737	0.225	0.312	0.026	0.001	0.001	0.002	2.381
11	270,527	回収尾数(尾)	1,524	2,291	1,256	382	48	38	7	0	5,547
		回収重量(kg)	393	1,403	1,240	572	96	99	22	0	3,824
		回収率(%)	0.563	0.847	0.464	0.141	0.018	0.014	0.003	0.000	2.050
12	228,000	回収尾数(尾)	5,140	1,624	807	41	182	24	15	0	7,833
		回収重量(kg)	1,183	806	789	64	339	61	46	0	3,288
		回収率(%)	2.254	0.712	0.354	0.018	0.080	0.011	0.006	0.000	3.436
平均		回収尾数(尾)	1,975	2,169	795	284	110	22	7	14	5,286
		回収重量(kg)	436	1,304	715	427	212	56	23	55	3,229
		回収率(%)	0.788	0.942	0.303	0.123	0.036	0.010	0.003	0.006	2.210

表4 放流群別・年齢別回収状況

5千尾  
3トン  
2.2%

マダイ・ヒラメの放流魚は、それぞれ毎年、平均すると水揚げ全体の十数%を占めるものと推測されますが、種苗放流は、この漁獲による直接的な放流効果とともに、放流魚が子供を生むという二次的効果により、資源量全体の底上げに寄与することが期待されます。今後、放流効果をより高めつつ、マダイ・ヒラメ資源を維持し、増やしていくためには、経済価値の低い、小型の若齢魚の漁獲を抑えるなどの、資源に負荷を与え過ぎない効率的な漁業を行うとともに、放流時においては放流魚を弱らせてしまわないように、稚魚の取扱いをいっそう注意深く行うなど、資源の管理と適正な放流手法の実践が重要であると考えています。

10月の動き  
(県関係)

6日	海区漁業調整委員会(宮崎市)
14日	内水面漁場管理委員会辞令交付式(宮崎市)
	内水面漁場管理委員会(宮崎市)
28日	平成21年度宮崎県水産振興祭(宮崎市)



**宮崎県水産物ブランド品が食べたい!**

【営業時間】  
【直売所】月～木 AM10:00～PM7:00 / 金～日 AM10:00～PM8:00  
【レストラン】月～木 AM11:00～PM2:30 (昼のみ)  
金～日 AM11:00～PM2:30 / PM5:00～PM8:30  
【問い合わせ】〒880-0858 宮崎県宮崎市港2丁目6番地  
TEL.0985-28-6114

FISHERIES EXPERIMENT

## 県南浮魚礁のルールを協議

**宮** 崎県浮魚礁利用協議会(会長 矢部廣一)では10月2日、日南市漁協会議室において県南部会が開催された。部会では、曳縄操業についての協議があり、県南浮魚礁の曳縄船の操業ルールが決定した。また、県内・県外船のルールの遵守の徹底をはかるよう、各部会に周知した。



## 宮崎県・大分県旋網漁業連合協議会



**大** 分県海区と宮崎県海区における旋網漁業相互入会協定の有効期間が満了となることに伴い、宮崎県・大分県旋網漁業連合協議会を10月5日、延岡ロイヤルホテルで開催した。同協議会には宮崎県旋網漁業組合(組合長 森本徳喜)より8名、大分県旋網漁業協議会(会長 鳩石英世)より5名が出席し相互入会について協議が行われた。その結果、両県とも入会については、現状どおり継続することで合意したことから、本県の海区漁業調整委員会並びに大分・宮崎連合海区漁業調整委員会に対して協定の継続を申し入れた。

### 10月の動き

1~2日	棚卸監査	14~21日	決算監査
5日	大分・宮崎旋網連合協議会	28日	水産振興祭
6日	宮崎県漁政対策委員会第6回委員会		

人と自然との調和

台所用液体石けん      クレンザー

# わかしお を使おう!

資材の購入はJFグループ(漁協・漁連・全漁連)へ